

ファニチャーリノリウムのメンテナンスガイド

ファニチャーリノリウムは、全て自然の素材から作られたリノリウム家具用表面仕上げ材です。

仕 様	成分は亜麻仁油・松ヤニ・石灰・木粉・天然色素 厚みは2mm、裏打ち材としてフェルト紙を使用
特 性	耐久性と同時にすぐれた耐光性があります。 静電気を逃がす働きあり、ホコリが溜まりにくいです。
難燃性	際立った難燃性があり、タバコの灰が落ちても燃えません。
抗菌効果	表面に付着したバクテリア等は99%が24時間以内に不活化します。
色 彩	薄い色は汚れが目立ちやすいのでメンテナンスにご注意下さい。 経年変化により表面がわずかに変色する場合があります。

【クリーニング】

ファニチャーリノリウムは製造工場にて表面仕上げ剤が施されている為、使用前のお手入れは必要ありません。使用中のクリーニングとメンテナンスも簡単です。

毎日のお手入れ

きれいな乾いた布で拭くか、固く絞った濡れ雑巾で拭いた後すぐに乾いた布で拭いてください。

汚れた場合のお手入れ

特に汚れている部分は、薄めた石鹼水か希釈した中性洗剤にタオルを浸し固く絞って汚れを拭き取って下さい。汚れを落とした後は、乾いたきれいな布にて拭上げてください。

シミはアルコールを使用し除去する事が出来ますが、少しずつ慎重に行ってください。アルコールは可燃性ですので取扱いに注意し換気をして下さい。

大規模なお手入れ

1. 水に薄めた中性洗剤をファニチャーリノリウム全体に濡らしてください。
2. 表面を湿らしたまま約5分放置し、その後表面を家庭用メラミンスポンジ等で表面を洗浄してください。
3. 水きりベラにて表面の汚水を除去し、残りの汚水を乾いた布でふき取ります（目地や木口などから水分が裏に回らないよう注意してください）。
4. 水をつけたメラミンスポンジで表面を優しくなで、残った汚水を完全に除去してください。

5. もう一度水きりベラを用いて汚水を取り除き、残った汚水を乾いた布でふき取り完全に乾燥させてください。
6. 必要に応じて、新たな仕上げ塗りとして水1対1に希釈した中性水性ワックス*1を薄く1層塗布してください。2層目の塗布は1層目が完全に乾燥してから1層目に対して直角方向に塗布して下さい。
(*1) 中性のワックスは、シーバイエス社の「グリーンプラス・ワックス EX」等があります。pH5~9のものを使用してください。

【メンテナンスの注意点】

強アルカリ性タイプ（pH値9以上）の洗剤は使用しないで下さい。セルローズ・シンナーやアセトン等の溶剤系、塩素を含んだ製品の使用はしないでください。またファニチャーリノリウムの表面に、オイルや亜麻仁油を塗らないで下さい。

こぼれたコーヒー・紅茶・アルコールは、早めに拭き取ってください。放置すると、染み込む場合がありますのでご注意ください。濡れた植木鉢や花瓶、こぼれた水などは水垢が残る恐れがあります。保護マットを使用して下さい。

【簡単な補修方法】

細かな傷がついた場合には、市販されている胡桃を使って傷を補修することもできます。

【製品特性上の注意】

リノリウムは天然の材料からシート状製造され、製品安定の為、3~4週間、乾燥室と呼ばれる巨大な部屋で熟成されます。その際、亜麻仁油の黄色味が表面に現れ、「乾燥室フィルム」と呼ばれます。乾燥室フィルムは名称であって本当にフィルムがあるわけではありません。光を照射するとその品質や質量に変化なく消滅し、リノリウム本来の色、すなわち製造段階で製作した色に戻ります。この現象を「乾燥室フィルム現象」と呼んでいます。変色ではありません。

乾燥室フィルムは使用中も1~3ヶ月の長期間光から遮断されている部分に発生します。例えば、書類トレイをファニチャーリノリウムの上に1~3ヶ月間放置すると書類トレイの形と同様の黄色っぽい部分が現れます。

これは日焼けでも変色でもありませんので、洗剤をつけて擦っても落ちません。これが乾燥室フィルムです。この部分をまた光が常時当たるようになると必ず消滅し他の部分と同じになります。この乾燥室フィルム現象は製品を使用している間ずっと繰り返し起こります。これはリノリウムだけにある特徴ですので注意が必要です。

*その他不明な点は、販売元にお問い合わせください。